

4 果 樹

項 目	作 業 内 容
<p>(1)温州みかんの着果対策</p>	<p>(今月の作業のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○温州みかんの着果対策 ○中晩柑類の着果管理 ○キウイフルーツの摘果 ○キウイフルーツかいよう病対策 ○夏肥の施用 <p>1か月予報では、向こう1か月の気温は平年並み又は低くなっており、この時期の天気は数日の周期で変わる見込みである(5月12日高松地方气象台発表)。気象状況を確認しながら、今後の着果管理を行う。</p> <p>ア 着果量の少ない樹 新梢－幼果間の養分競合や、多雨・日照不足・高温等の影響で生理落果が助長される。そのため、着果部位周辺の強い新梢の芽かきやかぶさり枝の除去により、養分競合の防止及び樹冠内部の受光環境を改善し、結実率を高める。</p> <p>イ 着果量の多い樹</p> <p>(ア) あら摘果 着果の多い樹では、早期に着果負担を軽減し、新梢を発生させて、来年の結果母枝を確保することが重要となる。一次落果が終わり次第作業にとりかかり、6月下旬～7月上旬頃までに、傷果や奇形果を中心に摘果する。</p> <p>(イ) 摘果剤の有効利用 着果量が多く、摘果する労力がない場合は、摘果剤を利用する。 フィガロン乳剤を使って部位別に全摘果するには、満開10～20日後の生理落果最盛期に1,000倍を、摘果したい部位へ散布する。間引き摘果を目的とする場合は、満開20～50日後に1,000～2,000倍を全面散布する。 ターム水溶剤での部位別全摘果は、満開10～20日後に500～1,000倍を摘果したい部位へ散布し、間引き摘果は満開20～40日後に1,000～1,500倍を全面散布する。 両剤とも、散布時の気温によって効果の発現が異なる。25℃に近い気温で散布すると高い効果が得られるが、それ以上の高温となると落果が多くなるので、間引き摘果での使用時には留意する。</p>

項 目	作 業 内 容
<p>(2)中晩柑類の 着果管理</p>	<p>フィガロン乳剤は樹勢を衰弱させやすいため、連年での使用は避ける。</p> <p>ターム水溶剤は、根への移行がほとんどみられないため、樹勢への影響は少ないと考えられる。しかし、芽の伸長を停止させる可能性があることから、樹勢をよく観察して使用する。</p> <p>ア 「伊予柑」 一次落果終了後(6月下旬頃)、結果過多樹や樹勢衰弱樹からあら摘果していく。あら摘果の目安は、葉果比 50～60 程度で、7月中には終わらせるようにする。直花果、奇形果、傷果、内なり果、極小果、遅れ花果等を摘果する。</p> <p>イ 「不知火」 着果量が多いと樹勢低下、小玉果増加、隔年結果を引き起こしやすくなる。小玉果では高単価が期待できないことから、6月中旬～下旬までに全摘果量の8割程度を目標にあら摘果し、大玉生産に努める。奇形果、直花果、偏平果、傷果等を除去していく。あら摘果により、夏芽が発生して細根が充実し、減酸しやすい果実となる。</p> <p>ウ 「せとか」 収穫時期が3月と遅いため、樹に負担がかかりやすい。着果量が多いと樹勢がさらに低下しやすく、隔年結果性が強まる。このため、生理落果終了後できるだけ早期に、葉果比 60 程度まで摘果し、夏芽を発生させ、樹勢低下を防ぐ。</p> <p>エ 「愛媛果試第 28 号」 葉果比が60程度となるように、6月下旬～7月上旬にあら摘果する。夏芽発生を促すために、主枝先端部は全摘果する。直花果や短い有葉果、内なり果、裾なり果等を摘果し、葉5枚以上の有葉果を残す。</p> <p>オ 「甘平」 夏秋期に裂果しやすいため、20～30%の裂果を想定した着果管理を行う。あら摘果では葉果比60を目安として、極小果、奇形果等を中心に除去する。</p>

項 目	作 業 内 容																																																																																																					
(3) キウイフルーツの摘果	<p>キウイフルーツ果実は、7月中旬くらいまでに収穫時果実径の70～80%まで肥大する。特に、細胞数が劇的に増加する受粉後30日までの期間に、不要な果実を早期に除去し、残す果実の初期肥大を促進することが重要である。着果量は1㎡あたり25～30果を目安とする。</p>																																																																																																					
(4) キウイフルーツかいう病対策	<p>園地見回りによって、本病による枝枯れの発生や枝基部からの樹液漏出痕が確認されたら、周辺への拡散防止のため、発病部の早期除去など、発病程度に応じ適切に伐採や切除を行う。薬剤防除にあたっては、コサイド3000の2,000倍（使用時期：収穫期～果実肥大期。薬害軽減のため、炭酸カルシウム剤200倍を加用）、アグリマイシン-100の1,000倍（使用時期：落花期まで3回以内）、アグレプト水和剤1,000倍（使用時期：収穫90日前まで4回以内）、マイシン20水和剤1,000倍（使用時期：収穫90日前まで4回以内）、またはカスミン液剤400倍（使用時期：収穫90前まで4回以内）などを散布する。耐性菌出現の恐れがあるため、同一FRACコードの薬剤は連用を避ける。</p>																																																																																																					
(5) 夏肥の施用	<p>6月は地温が上昇し、根の活性とともに肥料吸収効率も高まる。夏肥を施用し、新梢充実や幼果肥大を促す（下表参照）。</p> <p>表 愛媛県施肥基準</p> <table border="1" data-bbox="481 1317 1417 1982"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品種名</th> <th rowspan="2">目標収量 (t/10 a)</th> <th rowspan="2">施肥時期</th> <th colspan="3">施肥成分量 (kg/10 a)</th> </tr> <tr> <th>チッ素</th> <th>リン酸</th> <th>カリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">かんきつ類</td> <td>伊予柑</td> <td>4</td> <td>6月下旬</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>不知火</td> <td>3</td> <td>6月下旬</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>ぼんかん</td> <td>3</td> <td>6月下旬</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>清見</td> <td>3.5</td> <td>6月下旬</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>河内晩柑</td> <td>6.5</td> <td>6月下旬</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>せとか</td> <td>3.5</td> <td>6月下旬</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>愛媛果試第28号</td> <td>4</td> <td>6月上旬</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>甘平</td> <td>3.5</td> <td>6月下旬</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">落葉果樹</td> <td>かき</td> <td>3</td> <td>6月下旬</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>キウイフルーツ</td> <td>2.5</td> <td>6月下旬</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>くり</td> <td>0.4</td> <td>6月下旬</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ぶどう(一般種)</td> <td>1.5</td> <td>6月下旬</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>3</td> <td>6月上旬</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>もも</td> <td>2</td> <td>6月上旬</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ブルーベリー</td> <td>2</td> <td>6月中旬</td> <td>4.2</td> <td>3</td> <td>3.6</td> </tr> </tbody> </table>	品種名	目標収量 (t/10 a)	施肥時期	施肥成分量 (kg/10 a)			チッ素	リン酸	カリ	かんきつ類	伊予柑	4	6月下旬	9	7	8	不知火	3	6月下旬	8	6	7	ぼんかん	3	6月下旬	8	6	7	清見	3.5	6月下旬	9	7	7	河内晩柑	6.5	6月下旬	9	6	7	せとか	3.5	6月下旬	9	7	7	愛媛果試第28号	4	6月上旬	10	7	8	甘平	3.5	6月下旬	9	7	7	落葉果樹	かき	3	6月下旬	6	3	6	キウイフルーツ	2.5	6月下旬	4	4	5	くり	0.4	6月下旬	4	2	5	ぶどう(一般種)	1.5	6月下旬	2	2	5	なし	3	6月上旬	3	2	3	もも	2	6月上旬	3	2	3	ブルーベリー	2	6月中旬	4.2	3	3.6
品種名	目標収量 (t/10 a)				施肥時期	施肥成分量 (kg/10 a)																																																																																																
		チッ素	リン酸	カリ																																																																																																		
かんきつ類	伊予柑	4	6月下旬	9	7	8																																																																																																
	不知火	3	6月下旬	8	6	7																																																																																																
	ぼんかん	3	6月下旬	8	6	7																																																																																																
	清見	3.5	6月下旬	9	7	7																																																																																																
	河内晩柑	6.5	6月下旬	9	6	7																																																																																																
	せとか	3.5	6月下旬	9	7	7																																																																																																
	愛媛果試第28号	4	6月上旬	10	7	8																																																																																																
	甘平	3.5	6月下旬	9	7	7																																																																																																
落葉果樹	かき	3	6月下旬	6	3	6																																																																																																
	キウイフルーツ	2.5	6月下旬	4	4	5																																																																																																
	くり	0.4	6月下旬	4	2	5																																																																																																
	ぶどう(一般種)	1.5	6月下旬	2	2	5																																																																																																
	なし	3	6月上旬	3	2	3																																																																																																
	もも	2	6月上旬	3	2	3																																																																																																
ブルーベリー	2	6月中旬	4.2	3	3.6																																																																																																	

(作成：果樹研究センター)